

香川大学農学部でのマタタビ属自生植物の研究について

香川大学農学部・果樹園芸学研究室では、シラクチカズラ（サルナシ）をはじめ、日本全国に自生するマタタビ属植物を集めて保存し、その特性を調べ、近縁のキウイフルーツの品種改良や台木に活用する研究を進めています。

■日本には、4種（1変種を含む）のマタタビ属植物が自生しています。

A. kolomikta ミヤママタタビ



A. arguta サルナシ



A. arguta var. hypoleuca
ウラジロマタタビ



A. polygama マタタビ



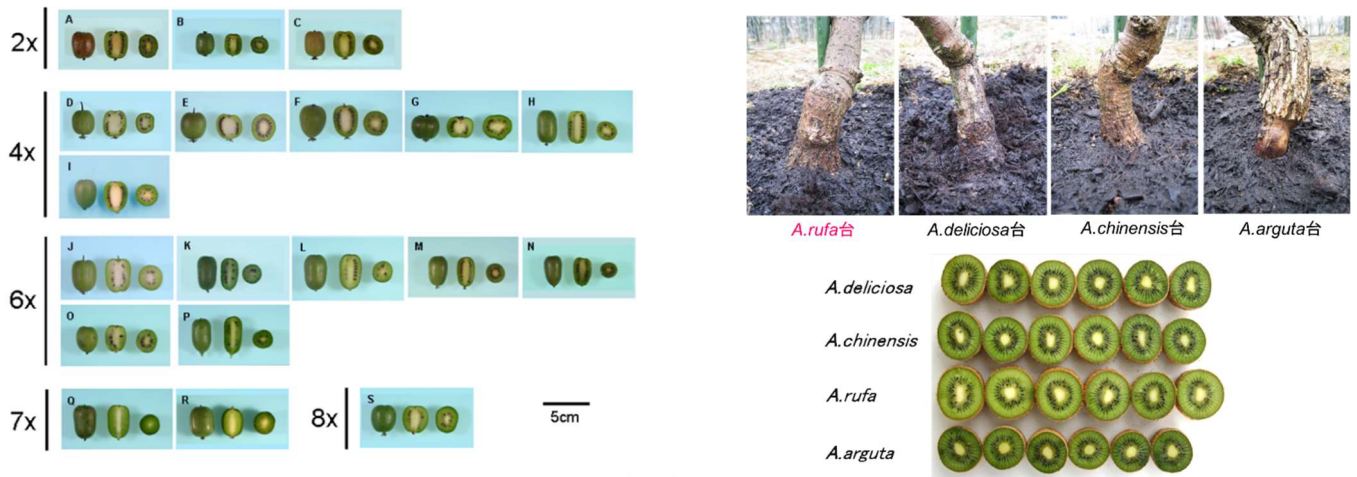
A. rufa シマサルナシ



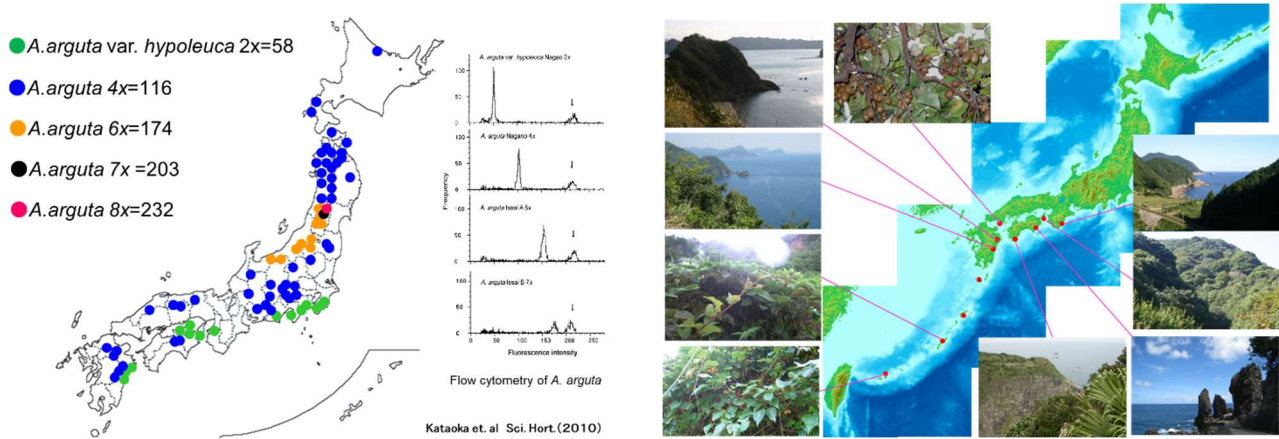
■このうち、サルナシ（左）は冷涼地に、シマサルナシ（右）は温暖地に広く自生しています。



■サルナシの果実調査 (左)、シマサルナシのキウイフルーツ台木試験 (右) の例

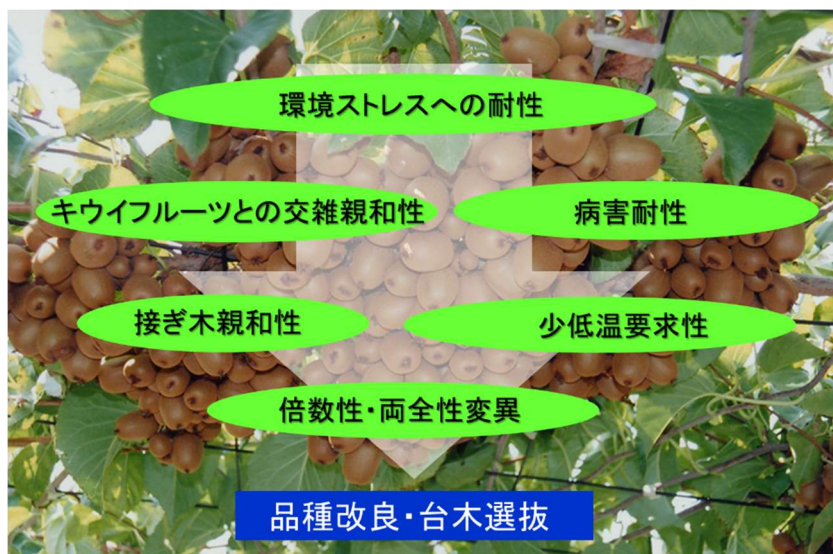


Kataoka et al. Sci. Hort. (2010)



Kataoka et al. Sci. Hort. (2010)

■自生種の様々な有用特性を活用するための研究を行っています。



■シマサルナシを改良したキウイフルーツ品種「さぬきキウイっこ®」(右) (香川県との共同育成品種)

